

したり、もし訴訟に持っていったときには、これは難しい問題です」。そこまでコメントされました。

だから、私はもうこのことは今回でやめますけども、今後のやはり市の基本的な市政運営において法令遵守ということはぜひしっかり受け止めていただきたいというふうに思っています。

それで、1月のどの新聞の社説かでありました。こういう言葉がありました。今ちょっとメモを持っていませんけども、「政治権力者は法的な規制を受けているときという自覚があるときのみ、法令遵守、いわゆる法律が規律、きちんと守られて市政なり国政の運営がされるんですよ」という文面を見ました。また後でそれは市長に正確に文章を渡したいと思いますけども。

そういうことで、一応時間少しオーバーしたようですけども、私の質問終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（作元 義文君） これで、小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 昼食休憩とします。再開は1時から行います。

午前11時56分休憩

午後0時57分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、午前中に引き続き、市政一般質問を行います。18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） こんにちは。新政会の大部です。今回も清く正しく美しくをモットーに頑張らせていただきます。

2つの質問を通告書に従いましてしますので、よろしくお願いします。

まず、1点目ですけども、これは12月の定例会に引き続きましてこれは再質問になるんですけど、トイレのことです。それともう1つは、漁協の本所の荷さばき所のこの新設についての2つですけども、まず1点目のこのトイレですけども、本当、市長、これ再質問になるものですから私もできるだけ避けたかったんですけど、この前の1回目の私がしたトイレの質問でいろいろあっちからこちらから電話がありまして、市長は全部わかってないじゃないかと、中身が。大部さん、トイレのどういう状態かというのを調べてくださいという電話が何件かあったんですよ。私も正直言って、あまり好んでするとこやないからしたくはなかったんですけど、トイレの大部というのに弱くて、すぐ乗せられるもので、これやってしまったんですよ。だから、これちょっとやらしてもらいますので、よろしくお願いします。

万関橋公衆トイレから比田勝までの東海岸道路沿いの公衆トイレについて、再質問です。

万関橋公衆トイレは大型バスも数台駐車でき、水洗トイレ、便器の数もそろっておりますが、

この場所を通り過ぎると大型バスが駐車できる公衆トイレは峰町のハートランドですが、この公衆トイレは市の施設とはいえ店舗の中にあり、韓国の観光客が十数人と一度に中に入ってトイレを使用されるときは、店内は騒然となるそうです。あとは上対馬の小鹿地区の漁港の施設の公衆トイレは、駐車場もありますが、このトイレは平成10年小鹿漁港高度利用活性化対策事業として設立されております。そして、比田勝広場前の公衆トイレが大型バスが数台駐車できる公衆トイレです。

この間、比田勝までの中間に公衆トイレはありますが、観光客を乗せた大型バスが駐車できる公衆トイレはなく、浜久須の運動公園のトイレは昔のトイレで、とても観光客に利用してもらえないトイレではありません。

昨年は韓国からの観光客は16万人近く、ことしはそれを大きく上回る20万人を超えるとも予想をされております。観光客の誘致には成果が見られつつも、受け入れ体制、ましては人間には必要不可欠なトイレの整備がおくれており、今の現状の落ち込み、ポットトイレには案内板は逆に恥ずかしい思いがします。万関橋公衆トイレから比田勝までの中間に大型バス数台が駐車できるぐらいの水洗トイレの整備が早急にできないかをお尋ねいたします。

2つ目、美津島町漁協本所前に荷さばき所の新設について。

美津島町漁協は5つの漁協、尾崎漁協、大船越漁協、三浦湾漁協、鴨居瀬漁協、東海漁協の合併により運営をしていますが、近年の漁業者の高齢化と燃油の高騰により厳しい環境に落ちております。各支所での出荷、資材の取り扱いが厳しくなる支所は本所で一括の取り扱いをして、経費の削減をしていかなければならない状態になっております。

しかし、今の現状では荷さばき所がないために、漁業者も職員も大変な労働になり、その上、せっかく水揚げされた魚も、雨の日は雨を、天気の良い、ましてこれからの夏の日は直射日光をまともに受け、鮮度も落ち、当然魚価も下がります。

これから先、厳しい環境は増すばかりです。荷さばき所ができれば、販売先の市場も各方面に送ることがより簡単になり、労働時間も短縮ができます。何とか荷さばき所の新設はできないかをお尋ねします。よろしく申し上げます。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 大部議員の御質問にお答えさせていただきます。

12月の議会の際に質問がありました公衆トイレの件でございますが、まずもって万関橋の横にあります駐車場付きの公衆トイレ、あのクラスの公衆トイレってなりますと、恐らくまずもって多分、調べではしておりませんが、七、八千万円はかかるんじゃないかというふうに、私の感覚ですが、1カ所当たり、思うところであります。

そういう中、あれほどのものでなくても極端に言えば中核的なトイレとか、あと、その途中で

については既存のトイレとか、いろんな組み合わせを考えていけないといけないのではなかろうかというふうには思うところです。

これほどの方がお見えになっておられます。また、国内客の誘客というのもこれからしていかなくてはいけない問題だとも思ってます。公衆トイレというのは当然必要だというふうに思っております。

東海岸のほうのトイレとなった場合、県道でありますので、まずもって県ともタイアップして物事の組み立てをやらなくてはいけないというふうに考えるところです。と申しますのが、せんだって国交省のほうに出向きまして、ある社会資本整備総合交付金の問題で国交省に行ったんですけども、その交付金の効果促進事業というメニューがございます。その効果促進事業の使い方について論議をしてきましたけども、市道との効果促進でないと市の組み立ての中では大変難しい問題がございます。そうすると、県道の改良の中にその効果促進事業としての道路のトイレというものを組み込んでいくやり方をしなくてはいけないなというふうに感じているところです。

そういう意味において、先ほど申しましたように県のパッケージの中にどのように組み込んでもらうかということがとても大切なことだと思っておりますので、市のパッケージでやれるところは市がやればいいんですけども、往々にして今の東の道路となりますと県道となりますので、県との協議をこの問題については進めていながら、回遊性を高めていく環境をつくり出していけるようにしたいと思えます。まずもって協議に入らせていただきたいと思えます。

次に、2点目の美津島町漁協の荷さばき所の新設のことがありました。

これにつきましては、現在荷さばき施設につきましては国の補助事業を活用し、整備が可能です。事業主体となる美津島町漁業協同組合が施設の必要性等を希望等も決定をしていただき、また御相談をしていただければというふうにも思っております。

そのためにはどうしても漁協とその受益地区の漁業者との協議が必要となろうかと思えますけども、本所からの一括出荷といいますか、そのあたりが実現可能なのか、真に施設の新築が必要なのか、当然、そして、分担金等の問題もあろうかと思えます。意思統一を図った上で事業計画を立てていただくことによって、施設整備は可能だというふうに思っております。

そのような方向性につきましては、市としても積極的に支援はしていこうというふうな考え方を持っております。水産業、漁業というのが当然対馬の基幹産業であるというのはもう事実でありますので、そこが衰退をしてしまうと対馬全体も埋没しかねません。それらを十分に考えながら、今の御質問の問題については取り組んでいきたいというふうに思っておりますので、まずもって美津島町漁業協同組合のほうの意思が前面に出てくるような形をとっていただければと思っております。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） それでは、まずこのトイレの問題ですけども、私も先ほど言ったようにこの話があったときに万関から比田勝までを各トイレを全部調べてきたんですよ。万関橋公園トイレ、これ水洗ですよ。男性用小便器は3個、大便器が和式の1個。女性用が和式3個です。それから、大山入り口にあるです。これは昔の落とし込みトイレで、男性用小便器が4個、仕切り板もないやつです。大便器が和式の1個。女性用が3個あります。それから、小船越の国道沿いに簡易水洗。男性用小便器2個、大便器が洋式1個。女性用が和式1個、洋式1個です。

この小船越のトイレを私が行ったとき、小便器はもちろんですけど、大便器が洋式なもんですから、私も本当に流れるか流れよらんかずっと確認していったもんですから、ふたをはぐったんですよ。ともう、座るところからもうべっとり汚しとるわけですよ。もう、ふたはぐってびっくりして、もう、くそうっち思うたんですけど、これも仕方がないもんですから、気分を持ち直して次に進みました。そしたら、位の端のバス停があるやないですか。あれは市のものになってるんですか。バス停の裏側に和式のやつが1個あります。これ市のものになるんですか、それとも交通会社がつくったやつか、わかれば教えてください。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 市の所有だそうです。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） これも位の端のバス停に1個だけ裏側にすぐありますよ、もう和式で。これもびっくりしたんですよ。

それから、これを越えたら峰町の、市長がこの前言われた、僕も市長の答弁書に基づいて動いたんですけど、峰町のハートランドのトイレですけど、これが水洗トイレできれいなもんですよ。男性用が小便器1個、大便が洋式1個。女性用が洋式の2個。そして、障害者用が1個あるんですよ。これがハートランドは店の中央部にあるんですよ、トイレが。入って左側に。だから、先ほど言ったように韓国からのお客さんがバスが来たとき、ぼっと入ったときに、ほとんど中身、言ったら悪いんですけど、そんなに商品はあまり手かけなくてトイレだけに来るらしいんですけど、もう騒然たるものになるらしいんですよ。そして、おまけにちょうど店の中央部ですもんね。だから、なかなかこれは使用しにくいのと、例え市の施設とはいえ、しにくいのと、バスのその運転手さんたちが言うには、できるだけあそこに連れていかないようにしてるのが、やっぱり日本人の運転手ですからそういう配慮というんですか、そういう形はやってるらしいです。だから、このところも市の施設とはいえ使い勝手が悪いというのが出てるんです。

それから、佐賀の水洗トイレ。これ市長は佐賀派出所の付近っていうもんですから、私もずっと派出所付近ぐるぐる回ったんですけどなかなかわからなくて、あそこほら後ろから車来たからまた行きかえって待って、したら、東小学校があるですもんね。小学校の生徒に聞いたら、「いや、

おじちゃん、公園の中にありますよ」っていうことで、またぐるっと回っていったら確かに公園の中にありますよ。市長は派出所付近って書いてあるからずっと警察の両サイドを見て回ったんですけど、僕は。したら、公園の中なんです。だから、公園の中って言ってもろときゃ公園の中を私も探しとっとですけど、それだけ見つけにくいトイレだったし、ここが水洗トイレですけど、男性用小便器が1個、大便器が和式1個。女性用の洋式が1個でした。

それから、小鹿漁港。これは先ほど言ったように平成10年に小鹿漁港高度利用活性化対策事業でできたトイレです。男性用小便器が2個。たまたま私が行ったときは大便器が故障しとって、使用禁止の表示がされておりました。それから、女性用が和式は2個。それから、障害者用洋式が1個で、あそこは掃除されてる人がひまわりとか何かいうんでしょう、10時に清掃しましたというきちっとした表示がされておりました。

それから、一重公民館のそばって言ってますから行きました。これも水洗トイレで、男性用小便器1個、大便器1個、和式です。そして、女性用和式1個になってます。

それから、市長が言うように御存じのとおり大イチョウの奥ということですけど、ここがわからなくて、また。あの駐車場があるやないですか、イチョウの左側に。僕はあそこにとめたんですよ。イチョウのそばにどっかあるんだろうと思って、うろうろしても見つけらんわけですよ、トイレが。そしたら、ちょうどおじちゃんとおばちゃんがおらったもんですから、見つけらんもんですから、「済いません、これイチョウの木のトイレってどこにあるんですか」って言ったら、私がもう格好が帽子かぶってマスクしとるから、また変な格好やったと思うとですけど、「どこから来んしゃったとですか」と言われるもんやから、「もう琴の人から来んしゃったとですか」言われても、私ももう仕方がないから「トイレの調査に来ました」ということで、したら、「ああ、保健所の方ですか」って言うから、もう保健所に成り済まして保健所っていうことになりましたよ。これね、市長、笑い事やないと。あのイチョウの奥というけど、あれは塀がしてあるやないですか、ちょっと塀みたいなのやつが。突き当りの家が大きな家でもんね、トイレの目の前が。（「お寺です」と呼ぶ者あり）お寺やと。ああ、それわからんもんですから、その土地の所有者のもんと僕はトイレを思って、見つけらんかったわけですよ。入ったら、そういう形できれいなトイレでした、水洗で。男性用小便器が2個。大便器が洋式1個が男用で、女性用は和式と洋式が各1個ずつです。

それから、市長は琴におきましてはバス停のところということですけど、バス停が僕ちょっとわからなくて、また聞いたら、すぐ横にありましたよ。今度はトイレが見つからんわけですよ。ほいで、ぐるぐるぐるぐる、ずっとあの付近だと思って回って、最後に見つけたのがトイレのところ、鍵がかかるとるわけですよ、トイレに。そのトイレに鍵は教育委員会ですよ。教育委員会が管理と。「観光客の増加により一般の人はイチョウの木の裏のトイレをしてください。このト

イレは通学バス利用児童・生徒専用のトイレとする」という張り紙があったんです。市長わからなかったでしょう、こういうふうになってるといのが。

だから、向こうのほうから言われるのが、電話がかかってきたのは、市長多分わかってないはずよ。今僕が行ったときは木には確かにまだ新芽も何もないから、ただの木みたいな感じですけど、何か結構多くて、まとまってバスがとまったときはやっぱりそういうふうでトイレが足りなくて、民間のトイレを貸してくれとかいう話もあるらしいんですよ。そういうことでした。だから、このバス停というのは普通の一般の方は使わないってことになってますね、教育委員会。

それから、浜久須に行ったんですよ、浜久須公園に。僕も浜久須公園というのはもともときれいな公園もあるし、グラウンドもあるからそれなりのトイレだと思ったら、あれぼつとんトイレですよ。市長、知ってました。ちょっと教えてくださいよ。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 浜久須については利用はしたことは当然あるんですが、今場所等についてはわかりますけども、今型式等についての記憶は私のほうにはちょっとないのが事実です。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） 多分、私もそのとおりだと思うんですよ。聞いとったこの前の議会を見られた方が多分市長は分かってないんだろうと。

このトイレは全部ぼつとんトイレも、男用のトイレは小便器は下コンクリなんですよ。ちょうどうちの美津島町がグリーンパーク公園が、僕らが議員になったときに僕もあれを水洗にしてもらったんですけど、今の浜久須のトイレと一緒になんですよ。ぼつとんで男性用は下がコンクリで。僕行ったときはまだ1月、2月やから、当然変な話ああいうウジ虫なんかはってないですけど、夏はあれはいますよ。ただ、男用で小便する真正面にプラスチックの黒い板があって、10センチぐらいの仕切り、こんなやつがちょっと出てるんですよ、真正面に。3人分ですよというその表示みたいな感じなんですよ。これしかなくて。それでなりました。それから、男用は当然ぼつとん1つ、女性用も和式のぼつとんが2個なんですよ。

だから、今、市長は先ほど答弁されたように、ある程度の水洗トイレをつくりゃ、僕らも仕事自分もスーパーしたりしたらトイレにどれぐらい金かかるというのはわかるんですけど、やっぱり金がかかるかかるじゃ、これちょっと私はおかしいと思うんですよ。

先ほど言うように、韓国からの人口が観光客が16万人ぐらい。それに対する経済効果というのが33億300万円と、この前発表ありましたよね。そして、交通費が2億3,000万円、宿泊費が3億9,000万円、飲食費が5億9,600万円、みやげ代が21億1,500万円と、こういう数字も出とるやないですか。だから、私が言いたいのは、やっぱりこういうふうに来てくださいという、そういう人を招待するには、私はこういうトイレから。こういう場所的にいろんな

先ほどの話であるわけですから、浜久須あたりを改善するとか水洗にするとかいうのを、市長これ簡単言うたらあれでしょうけど、今あるわけですから用地も。ぼっとんから水洗にすることはできんとですか。これどんなもんです、市長。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 浦底から比田勝までの間の区間において、今言われるのの機能分担っていいですか、本当でどこが一番物事に投資効果が上がるのかということを見定めて、先ほど言いましたように社会資本交付金なんかで物事を組み立てていきたいというふうには思っております。

今特定の浜久須でできるんじゃないかとおっしゃられましたけども、今言いましたようにその距離の中で浜久須となると、今度は比田勝に新たな国際ターミナル、当然トイレがきちんとあります。そして、すぐ近くの埋め立て地もございます。それらとの距離的なことも考えながら、どこに配置をすればよいのかということを中心にきちんと考えたいということで、今ここで浜久須の分をやりましょうという話にはすぐにはなりませんけども、どこがいいのかを検討には当然入ってきたいと思っております。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） ぜひそういう前向きに行動してもらいたいと思います。

今、市長が言ったように僕が行った中で、それから、比田勝、言われる広場の前のトイレがありますよね。これはきれいなトイレで、男性用小便器が3個、大便器が洋式1個、和式が1個。女性用が洋式1個、和式が2個。そして、身障者用1個というきれいなトイレですよ。

ここまで僕も、これ大変やったとですよ。もう1日がかりと言ったら大げさですけど、ずっと見ながら行って、11カ所調べてきたんですよ。それで、もう僕もこの大部のトイレというのは今回にしてやめて、もうやめろうかと思って発表してるんですけど、帰りにこれ余談、失礼、一般質問でこんなこともあれでしょうけど、帰りに私がこの日が何か最悪の日で、浜久須で1台、一重で1台、佐賀で、バキュームカー3台会うたんですよ、帰るまでに。ほいで、もう最後のとどめが家に帰って夜御飯食べろるか思うたら、夕食はライスカレーやったんですよ。もうこれで小船越のトイレを思い出して、食べなかったです。

だから、トイレのほうはもうこれにして、市長、浜久須とかどっかそこら辺を、バスが駐車されてきちっとした歓迎ができるようなトイレにひとつ早目につくってもらいたくて、これ早急トイレということでしたんです。そうしないと、人だけ招いて、なかなかこれはちょっと何ですか、滝川クリステルさんが言ったようにおもてなしにはちょっと向かんとしますので、ひとつそこんとこ市長よろしく願いしときます。

じゃあ、トイレは終わりました、2つ目の先ほど言った漁協の荷さばき所ですけども、今うちの漁協は先ほど言ったように5つの支所、今支所になってますけど、組合員数が尾崎が92名、

大船越が88名、三浦湾が212名、鴨居瀬224、東海が75で、合計の691人がうちの今美津島漁協の組合員です。その中で、正組合員が242名、準組合員が449名なんですよ。

今組合で正式に完全に組合らしき形というのが、尾崎だけだと思うんですよ。それというのが、正組合員が47、準組合員が45なんです。これがやっぱり本当の組合の形だと思うんですよ、正準が。あとは大船越で88名中に29が正、準が59。三浦湾は212のうちに51名が正組合員、準組合員が161名。鴨居瀬は224のうちに82が正、142が準組合員です。東海が75名中33が正で、準が42なんです。これパーセンテージに直したら、尾崎だけですよ、104%、正の力が。三浦湾、大船越と言ったらもう、大船越が49.2%、三浦湾が32%、それから、鴨居瀬57.7%。これだけもう高齢化に入ってるわけですよ。

一番怖いのが、僕はこれ荷さばき所をひとつ急いでくださいという、これも要望ですけども、年齢別組合員というのがうちの漁協で50代以上が19%、131人ですよ。60歳以上が432。要するに、691の432が60歳以上です。パーセンテージで63%になってるわけですよ。

その中で、先ほどから言ってますように、正組合員と準組合員との差というのが、正組合員が全体的にいったときに54名ですよ、正組合員が。そして、60歳以上が正組合員が123名です。準組合員はどうなるかというと、50歳以上が77名、60歳以上が309名。両方合わせたら約400名なんです。これ市長、後5年もしてみんですか。もう大変なことになるんですよ。

市長の先ほどの答弁でありがたいのは、組合が要望を1つにしてくれということですけど、組合は何かかんかて今組合長が行くということで話をしてたんですけど、まだ行ってないんでしょうね。行くということやったんですけど、荷さばき所の要望を——ああ、そうですか。行くって言ってたんですけど、まだ行ってないの、申しわけないです。

それから、先ほど市長が言うように、本当に統括ができるのかということですけど、三浦湾は緒方、久須保、犬吠、女護島、この4地区で三浦湾ですけど、ここの組合員はもう一括で集荷したいというのが組合の統一ができてるんですよ。そうしないと、4カ所も3カ所もこうしよったら職員もたまらんわけですよ。今イカならともかくヨコワ漁のときなんかは朝方6時から夕方6時まで受け入れしてるんですけど、とれたときなんかは7時までになるんですよ。職員もばらばらでしょう。たくさんとれときゃいいですけど、ちょっとしかとれなくても、やっぱり1人は1人つけないかんやないですか。だから、ここは組合の意思統一はできてますので、僕も確認してこれ言っております。三浦湾は統一を、逆に本所前にしてくれということになってますので、市長そこんところをよろしくお願いします。

そこで、うちの組合の内部的な動きとして1つ問題になってきよるのが、水揚げは23年度が23億円、24年度が23億円ちょっとですよ。正式に言いましょうか、22億8,100万円が

23年度で、24年度が23億2,500万円です。その中のこの23億円もある中で、マグロ養殖が9億円のぼってるんですよ。ということになれば、万一、マグロの養殖は今軌道に乗ってま
すからいいけど、イカ釣りとかやったらとてもやらないですよ。これ組合にならないわけ。私
たちの組合はもう何年になりますかね、六、七年前に減資したんですよ。減資って言ったら知ら
ない人おるでしょうけど、出資金の中から統一で赤字を埋めんと信用部が動かんもんですから、右
へならえて約2億円を減資して、今の組合が動かして、信用部も動いてるんですけど。この減資
を、マグロがなかったらまた減資しなくちゃいけない状態に入るんですよ。イカ釣りですら
13億円、14億円でとてもやれんですよ。なおさら1カ所集荷を急がんと、マグロがいいい
うてもこれもわからんですよ、いつまでどうなるかというのは、先の見込みは。だから、1カ所集
荷をさせてほしいという組合の要望なんですよ。うちの大船越もヨコワ系列は今本所のほうに話
し合いで持っていつてるんですよ。そういうこともありますので、市長先ほどの答弁でできれば
やりたいということですけど、ぜひこういうのをしてほしいわけですね。

話ですけども、今私たちの漁協では各部落にもうイカ釣りの大型船というのはほとんどいない
んですよ。うちの地区で2隻。イカ釣り、大船越で。犬吠で2隻、鴨居瀬も1隻か2隻でしょう。
緒方が2隻ぐらいで、各部落2隻ぐらいしか。もうほとんど売船をして、燃油高騰と魚価安、こ
ういうのもあるとでしょうけど、売ってそのまま仕事を放置するわけいかんから小船を買って、
小船でヨコワ漁をしたりいろいろやってるんですよ。たまたまヨコワがとれたからこれうちの漁
協もこれ保ってるんですけど。なおさら、ヨコワというのは、イカやったらこう上からふたかぶ
せて出荷するんですけど、魚系はふたかぶせないんですよ、氷打ってそのままやらないですか。だ
から、野ざらし、日ざらしになったら、あそこ結構カラスとかトビとかカモメとか多くて、一番
狙うのはもう目の玉からやるもんですから、もう職員もあわててばたばたせなでけんというのが
この現状なんですよ。そこんともひとつ市長考えてもらって、この荷さばき所を優先的に早く
やってほしいわけです。

そして、要望なんですが、組合の職員とかいろいろ、そりゃでかいが一番いいんでしょうけど、
組合の職員がいろいろ計算していった中で、あそこ市長、浮棧橋があるやないですか、漁協の前
に、大きいポンツーンが。海に向かって左側が製氷ですよ。海に向かって犬吠寄り製氷がつ
くってもらってるんですよ。今右側は魚礁とかいろんなやつつくってるやないですか。つくって
るんですよ、野積みになってますし、そこをそちらに右側のほうに20メートルの15メートル、
300平米というんですか、それぐらいの規模の荷さばき所をつくってほしいということなんで
すけど、製氷の裏側になったら、今度浮棧橋から上がって荷物持ってぐるっと回らないといけな
いのと、製氷の犬吠側の岸壁は浅くて船が着きにくいんですよ。そういうのもありますし、ぜひ
こちらの右側のほうにすれば、浮棧橋上がってすぐ荷さばき所という形をつくってほしいのと、

行く行くはもう1カ所になりますから今度は水産倉庫ですよ。そんなのも先々検討していかなくちゃいけないのが、これ近々の課題だと思いますので、市長そこんともひとつよろしく願いします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今、大部議員さんのほうからお話がありましたことについては、市としてはそういう方向で物事を進めていきたいというふうにも思っておりますので、事業主体であります美津島漁協の事業計画をしっかりと見て、こちらができる支援というものはしっかりとやっていきたいという考えでおりますので。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） ありがとうございます。

今流れ的に、市長、漁民の流れですよ。もう対馬だけじゃなくて、この前市のほうで漁業近代化資金利子補給補助金というのが出たですよ、529万1,000円。これは漁業者などが漁船建造等を行い、資本装備の高度化を図るため、融資を受けた資金の金利に対し補助を行い、漁家経営の近代化を支援します。この漁業近代化資金というのは僕らはちょうど16年前ですか、まだ僕らが合併しないころ、美津島町議のときに、はっきり言って美津島町がこれ最初にやったと思うんですよ、松村町長のとき。そのときは船を建造するのに順番待ちやったんで、長い人1年ぐらい待たんと、みんなが漁師さんが景気いいもんですから船をどんどん建造するやないですか。順番待ちで長い人本当1年ぐらい待たんと、船が建造できないような時代があったんですよ。そのときの利子補給というのは、美津島だけで3,000万円ぐらいありましたよ。それだけの船がどっとできよったということです。今これ全島で529万1,000円しかないやないですか。船つくる人はいないんですよ、大型船を。まずもって今は売船ばっかしですから。

先ほどから言うように大型を売ってどうするかって、みんな遊んどくわけいかんから小船でたまたまヨコワ漁がこの一、二年いいもんですから、ヨコワ漁に切りかわってみんなが生計立てていきよるし、組合員もいいし、組合もいいんですよ。なぜこの利子補給のこと言ったかといったら、それほどまでにもう大型船ができるということは120%ないです。

だから、一括集荷を、今は私は美津島漁協のことを言ってますけども、どこの漁協もそういう形がとっていかんと、組合自体が残っていきませんよ。そういうことに漁師も組合もなっとるわけですから、できるところから市長してほしいわけです。うちの漁協は、何回も言いますけど、三浦湾は完全にそれをやるということですので、市長そこんともよく理解してもらって、先ほど答弁がありましたけども、やってくれるということですから私も組合にもまた強く言って、早急に行くようにまたしますので、ひとつよろしく願いします。

まだ10分余りありますけども、ありがたい答弁をいただきましたので、これにて終わらせて

いただきます。ありがとうございました。

○議長（作元 義文君） これで、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。再開は1時55分から。

午後1時38分休憩

午後1時54分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。次に、14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） 市民の声を生かす、市民の市政をモットーに頑張っております。14番議員の小宮教義でございます。きょうは私がラストバッターでございます。私の持ち時間はいつも50分でございますので、よろしく願いをいたします。

先月の2月2日に長崎県知事選挙がございました。そして、現職の中村法道さんが見事2期目を当選をなされました。最初の1回目はタイトルが「こぎ出せ！長崎」ということで、船の絵がございましてこういう形になっておりました。「こぎ出せ！長崎」ということで、今回は「ステップアップ」ということです。それからちょっと上がったんでしょう。ステップアップの次は何かといいますと、これはステップ・アップ・ジャンプしかないわけでございますから、ジャンプまでぜひ知事さんには頑張っていたきたいと思っております。

知事は皆さん御案内のとおりに対馬支庁長もなされております。特に、この私どもの対馬には非常に特別な想いがあるようでございます。知事の選挙公約、たくさんございますが、この外国人の受け入れ対策、そして、宿泊の対策、そして、地元産品のブランド化などございます。特にことは県の事業として私どものこの朝鮮通信使の世界記憶遺産登録という事業を行っていただけるとお聞きをしております。私どもこの対馬島民こそって中村知事の今後のこの4年間のかじ取りと、そしてさらに、さらなる対馬の振興をお願いを申し上げる次第でございます。

ことは年の初めから非常にうれしいことがございました。1月の28日ごろでしたでしょうか、簡単な方法で画期的な万能細胞——STAPというんでしょうか、の発表がございました。理化学研究所の小保方晴子さん、30歳でございます。割烹着姿の非常にかわいらしい印象を受けました。これについて朝日新聞は1月の30日付の新聞でこう書いてございます。「小保方さんは今までの研究を振り返り、次のように言っている」と。「やめてやると思った日も、泣き明かした夜も数知れないんですが、きょう1日、あす1日だけ頑張ろうと思ってやっていたら、5年が過ぎていました」というふうに言っておられます。やめてやると思った日も、泣き明かした夜も数知れないんだと。実に胸にジンと来る思いがいたします。中には、疲れがたまったから市長をやめるというふうなお人もおるようでございますが、残念至極でございます。